

境界

終わりたい
終わらせたい
それは容易いこと

生き続けたい
生かし続けたい
それは容易いこと

受け入れるものとしての死がある
望むものとしての死がある
その延長としての生があるに過ぎない

(ぶるぶるとしたゼリーのような・・・)

事実というクレバス
その奥を覗き込む度
すうっと血が引いてゆく

(逃亡のための破滅・・・)

誰も歌おうとしない
誰も慰めようとしない
誰も両手で持ち上げようとはしない

(ひとつまみの・・・)

ただあるものといえは
秩序というものに対する
漠然とした渴望だけだ

扉は開かれている
あらゆる方位に向けて開かれている
扉の存在する部分でだけ

あらゆる視界が
実は遮られている
だから誰ひとり「眺め」とは呼ばない

試しに砲丸を投げつけてみると
割れた画面の向こうに
新たな視界が開けてくる

コマーシャルイズムに逆流する
1億分の1ずつ異なる性向
それが交叉し、個人へとさらに逆流する

既に「個人的な」ものなど消えている
全てはMassとしてふるまっている
サンゴのような共生体

(それを抜け出せばどうなるかぐらい知っている)

終わらせることも
生き続けることも
容易いこと

(2008.4.25)